

令和4年度西成区運営方針の 取組みについて

令和4年度西成区区政会議
第2回 教育部会

令和4年7月29日

西成区HP
「運営方針」



令和4年度 西成区運営方針

西成区の目標（何をめざすのか）

「すべては子どもたちのために」をキャッチフレーズに、未来を担う子どもたちが健やかに育ち、だれもが笑顔にあふれ、安心安全に暮らすことができるまちの実現をめざす。

西成区の使命（どのような役割を担うのか）

地域住民等との連携・協働のもと、区長自らの権限・責任において、地域の実情や特性に即した施策や支援を行う。また、多様な区民の意見やニーズを把握し、区政への区民の参画など、地域と一体となって様々な施策を展開していく。

令和4年度 西成区運営の基本的な考え方（区長の方針）

西成区は、少子高齢化やあいりん地域などの様々な課題を抱えている。それらを解決するため「1 子どもに寄り添った支援と子育てしやすいと実感できるまち」「2 活気にあふれ、誰もが歩きたくなる楽しいまち、豊かに自分らしく健康に生活できるまち」「3 災害に強いまち、犯罪が起こりにくく、安心安全に暮らせるまち」「4 官と民が協働して取り組み、あいりん地域が抱える様々な課題を解決し、安心して暮らすことができるまち」に向けた施策や支援などを重点的に取り組んでいく。西成特区構想については、引き続き人的資源や地域資源を活かして、にぎわい創出と再チャレンジ可能なまちの実現をめざした取組を推進する。さらに、若者等の居住促進や子育て支援の充実、重大な児童虐待ゼロに向けて区の特성에応じた取組など、一層の対策を進めていく。

また、区民にとって身近で親しみやすい区政運営を推進することにより、区民から信頼される区役所づくりをめざす。

なお、各経営課題における具体的取組については、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら進めていく。

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題	戦略	具体的取組【令和4年度】	区政会議各部会
子どもが育つ環境の充実	子どもの「育ち」を支援	プレーパーク事業	教育部会
		障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業	
	子どもの「学び」を支援	西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)	
		基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)	
		西成区こども生活・まなびサポート事業	
にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり	地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化	西成区魅力発信事業	西成特区構想部会／ 情報発信部会
		新今宮エリアブランド向上事業	
	地域活動の支援強化	地域コミュニティ支援事業	情報発信部会
		緑化推進事業	
	地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり	西成区地域福祉計画推進事業	西成特区構想部会
		地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業	
		西成版サービスハブ構築・運営事業	
	人権尊重のまちづくり	人権尊重のまちづくり	情報発信部会
防災・防犯・安全対策	コミュニティ防災力の強化	地域防災活動事業－地区防災計画を活用した地域防災力の向上－	
		地域防災活動事業－地域防災の担い手の発掘・育成－	
	防犯・安全対策の推進	防犯対策事業	
		自転車等安全利用啓発事業	
空家等対策の推進	空家等対策推進事業		
あいりん地域対策	あいりん地域環境対策	不法投棄対策	
		迷惑駐輪対策	
	あいりん地域を中心とした結核対策	結核患者の早期発見・早期治療	
		結核患者の支援の充実	

めざす成果及び戦略 子どもの「育ち」を支援

具体的取組1-1-1 プレーパーク事業

2決算額	13,486千円	3予算額	12,308千円	4予算額	11,529千円
------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
プレーパークの一日あたりの来場者数	平均120人以上

今年度の取組内容

- ・子どもの「生きる力」を育む居場所であるプレーパークを実施する。
- ＜場所＞もと津守小学校・幼稚園
- ＜開催期間＞令和4年4月～令和5年3月
土日祝を中心に年間90日間程度
開催時間：10～17時（冬期は10～16時30分）
- ＜実施内容＞運動場を利用し「遊び場」、幼稚園舎を活用し「学び場」、
「たまり場」を実施する。
出張型開催により区内各地域でも開催する。

めざす成果及び戦略 子どもの「育ち」を支援

具体的取組1-1-2 障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業

2決算額	3,147千円	3予算額	7,342千円	4予算額	7,011千円
------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
障がいがある子ども・親がいる世帯のうち支援が必要と思われる世帯に対して、必要な支援につながっている状況が把握できた世帯及びアウトリーチを行い支援機関等へのつなぎ等が実施できた世帯の割合	対象世帯の100%

今年度の取組内容

区役所と関わっていない可能性のある精神疾患や知的障がいがある子どもまたは親の全数について現状を把握するとともに、専門職員が迅速に対応することにより、親子が穏やかに生活できるよう適切な助言を行い、必要に応じて支援機関につなぐ。

精神疾患や知的障がいがある子どもの親に対する、子どもの特性を理解してもらうための連続講座や、障がいがある親がしんどい時に、親の負担軽減と子どもの見守りのための保育所等への送迎支援等も実施し、家庭に引きこもらないような取り組みを合わせて実施する。

- ・家庭訪問及び相談支援
- ・言語聴覚士による専門相談
- ・保育所等への送迎支援
- ・助産師による専門的家庭訪問支援事業の対象を3ヶ月から1歳までに延長
- ・子育てが難しいと感じる親や発達障がいの子を育てる親を対象に連続講座を開催

めざす成果及び戦略 子どもの「学び」を支援

具体的取組1-2-1 西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)

2決算額	121千円	3予算額	186千円	4予算額	186千円
------	-------	------	-------	------	-------

目標	目標値
参加者にアンケートを実施し、基礎学力の向上及び学習習慣の定着を測る項目について肯定的な意見	70%以上

今年度の取組内容

区内中学生を対象に、塾代助成事業が利用可能な事業者による課外授業を実施し、中学生の基礎学力アップと放課後の居場所づくりをめざす。

- ・実施場所 区内3ヶ所(鶴見橋中学校、玉出老人憩いの家、たちばな会館)
- ・各実施場所で週2回課外授業を実施。
- ・参加者 90人以上(30人×3ヶ所)

めざす成果及び戦略 子どもの「学び」を支援

具体的取組1-2-2 基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)

2決算額	7,728千円	3予算額	7,744千円	4予算額	7,744千円
------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
授業の初回と最終回にテストを行い、点数が上昇する児童の割合	70%以上

今年度の取組内容

区内の小学校3～6年生を対象に、夏休みや平日の放課後及び土曜日の時間を利用し、学力の基礎となる国語・算数を中心に集中的な学習支援を行う。
学習意欲を高め、基礎学力の向上や学習習慣の定着をめざす。

対象児童数:304名(3・4年生)、160名(5・6年生)

学習時間:45時間(3・4年生)、10時間(5・6年生)

めざす成果及び戦略 子どもの「学び」を支援

具体的取組1-2-3 西成区こども生活・まなびサポート事業

2決算額	58,940千円	3予算額	65,593千円	4予算額	69,374千円
------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
学びの場への定着を目的に、不登校在籍率や遅刻数を改善	大阪市平均に近づく

今年度の取組内容

令和2年度から実施したこどもサポートネット事業によって決定される要支援者への支援方針に基づき、各学校に配置するこども生活・まなびサポーターが児童生徒の課題解決へ向け、「電話や家庭訪問による登校支援」等の学びの場へ定着するための寄り添い支援を行う。平成29、30年度は区内1中学校区、令和元年度は区内2中学校区、令和2年度からは区内全小中学校に拡充して実施しており、令和4年度についても引き続き区内全小中学校にて実施する。

・「こどもサポートネット事業」とは・・・すべての子どもたちの状況を把握した上で、必要な子どもたちを支援につなげていくことを目的とし、学校において、学校生活や家庭生活・家庭環境、経済的困窮等の課題を抱えた子ども及び子育て世帯を発見し、区役所(こどもサポートネット推進員・SSW)と連携して保健福祉の支援制度や地域資源の適切な支援につなぎ、社会全体で総合的に支援する事業